

建物屋上 / ハト小屋

K803-1.01

平成 29 年 01 月

建物の屋上は、各種設備配管が多く設置されている。この配管類は屋上スラブを貫通して立ち上げるので、当然防水処理が必要なのでアゴ付コンクリート基礎で防水層を処理して、配管横引きのために覆いと貫通壁が必要である。そのために、右写真のような「ハト小屋」が作られていたが、各種基礎以上に複雑で手間が掛かり、鉄筋、コンクリート打設、型枠ばらし、残材処理、コンクリート補修、防水工事と非常に工程が多く手間が掛かり生産性の低い方法である。



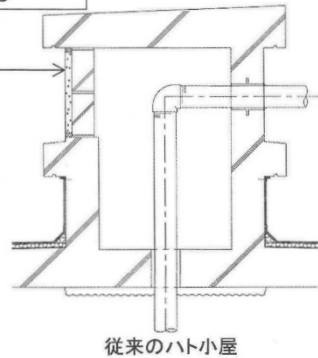
このコンクリートに絡む工事を全部無くし、かつ配管のメンテナンスが非常に容易になるものとして開発された。

新旧断面比較⇒

ルーフパネルを外すと  
メンテナンスが容易

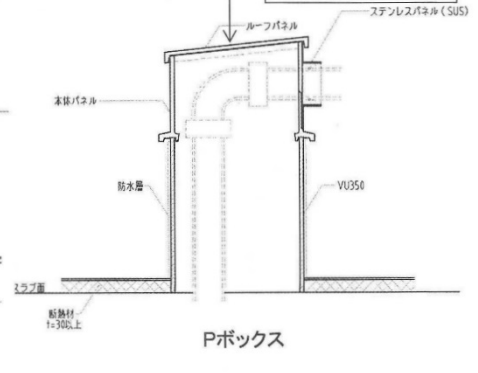


モルタル仕上げ部分  
に穴をあける



従来のハト小屋

4ヶ所についているねじ  
を外してルーフパネル  
を外す



Pボックス

施工例

配管用



配電用



販売元：株式会社ニチアセムクリート

◆ 本商品は、株式会社長谷工コーポレーションと株式会社ニチアセムクリートの共同開発品です。外販を行っていますので、上記販売元にお問い合わせ願います。

\* 各社/各商品の詳細は、会員名簿から各社ホームページにアクセスして、参照願います。